

〇まちづくりの方向性・将来像・コンセプト

No	意見	発言者	対応
1	「ウォークアブル」といっても様々であり、場所ごとに具体的にどのようなウォークアブルを目指すのか示せると良い。	吉村委員	具体的な再整備の内容については、来年度以降に検討部会で検討を進めていく。
2	コンセプトについて、「RENOVATE」だと、一般の方にわかりづらく、今回の再整備方針とはニュアンスが違いため、見直した方が良いのではないか。	池邊委員 伊藤副会長	再整備に向けたコンセプトについては、「Walkable歩きたくなる」、「Everyoneみんなで」、「Sustainable持続可能な」、「Try新しいことを試みる」の4つの要素で構成した「WEST SHINJUKU」とした。
3	再整備方針として、これといった華が無い。みんながわくわくする要素が無い。	池邊委員	具体的な再整備の内容については、来年度以降検討部会で検討を進めていく。

〇方針2【都市空間】

No	意見	発言者	対応
4	みどりの誘導イメージは何の意味もなしていないので再構成すること。	池邊委員	方針2-④みどりの誘導イメージを削除し、民間活力を生かした施設整備・管理・運営について、新宿中央公園の事例を追記した。
5	4号街路の再整備は時間がかかるが、時間を空けることなく目に見える再整備を進めることが重要と考える。	国土交通省 都市計画調査室長	具体的な再整備の内容やスケジュールについては、引き続き関係者と協議を進めていく。

〇方針4【デジタル】

No	意見	発言者	対応
6	デジタル技術を活用したまちづくりには、もう少し適切な事例があると考ええる。	吉村委員	デジタル技術を活用したまちづくり(西新宿)の事例に音のXR体験や自動配送ロボットを追加した。
7	バルセロナでも実施されているように、スタートアップの誘致や様々な実験的な取組が行える場の提供など、より踏み込んだ内容が提示できると良い。	吉村委員	方針4-①にスタートアップ企業などに対して、デジタル技術の実験・体験の場や機会を創出することを追記した。

○再整備イメージ

No	意見	発言者	対応
8	各パースについて、超高層ビルの高層部が消されて表現されているが、当面は超高層ビルが建っているため、超高層ビルがあった時にどう見えるのか、高層部は関係ないということにならないようにした方がよい。	国土交通省 街路事業調整官	各パースについて、超高層ビルの高層部の表現を修正した。
9	まちの将来イメージについて、下の文章と上の絵がうまく伝わっていないと感じている。新しいライフスタイルのイメージによって下の文章も変わるだろう。②は新しいライフスタイルなのかは疑問である。今の新しさは双方向で開かれていて、まちの人から企業が受け取るようなダイナミックな変化ではないか。まちも企業も都庁も開いているようなイメージ。	岸井会長	具体的なライフスタイルがイメージできるよう、新しいライフスタイルの説明を修正した。 また、パースについても修正した。
10	「新しいライフスタイル」というのが重要だと考えるが、具体的にどんなことが起こりうるのかを伝える必要がある。それを伝えているのがまちの将来イメージのパースかと思うが、こんなこともできるのかという発見が具体に見えると良い。例えば、「⑨まちの歴史や将来計画に触れることができるなど、誰でもまちづくりに参加できるきっかけがあふれている。」とあるが、模型を囲んでディスカッションしている風景や授業をしている風景など、これまで見えてこなかった場面をイメージできると説得力が増す。	伊藤副会長	
11	パースについてはファニチャーなどがありきたりであり、現在の一般的な使い方に寄りすぎている。	伊藤副会長	ファニチャーなどについては、来年度以降の個別事業の具体化の中で検討を進めていく。
12	ラボやテラス、ロビーの位置はまちの将来イメージに示さなくて良いのか。	伊藤副会長	ラボやテラス等については、パース内で表現しているが、具体的な位置については表現はしない。

○その他

No	意見	発言者	対応
13	再整備に係る費用は誰が出すのか。	池邊委員	原則として、個別事業ごとに各主体が費用を担うこととなるかが、道路空間については、来年度以降の具体化の中で、事業スキームについて検討を行う。
14	都庁のひざ元でありながら、世界に発信する要素が無い。都として何を世界に情報発信するのか。	池邊委員	都庁周辺では、西新宿地区において多様な人々の交流機会の創出や滞在誘発を先導する取組を進めていく。
15	今後の進め方について、2020年代後半以降の記載が具体性に乏しく意図が感じられない。フィジカルな変化が動き始める前から情報を共有化することが重要と考える。以前も発言した通り、具体的に言えば情報センターなどリアルでもデジタルでも整備できると良い。西新宿地区が変わることを楽しみにしてもらい、再整備案の変化も追えるような体験的な場をつくりながら、フィジカルな変化に繋がるような要素を入れ込んで頂きたい。	伊藤副会長	スケジュールに、個別事業の具体化にあたっては、実験的な取組を通じて得られる効果や課題等を踏まえながら検討を進めていくことを追記した。 また、再整備に係る情報発信については、今後関係者と検討を進めていく。
16	西新宿の元締めである都庁がコンソーシアムなどでエリアをまとめ上げ、議論を進めて頂きたい。	池邊委員	都庁周辺や道路空間の再編について検討を進めるなど、西新宿地区の再整備を進めていく